

格トスル修業年限四年ノ中等學校第三學年ヲ修了シタル者（注
高修三年ノ中等學校ハ卒業シタル者トス）

(3) 高修ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年ノ女子中等學校（夜
間ニ於テ授業ヲ行フモノヲ除ク）ノ第二學年ヲ修了シタル者

二、志願者心得又ハ生徒募集案内ノ記載事項ニ關スルコト

(1) 受験者ノ入學試験場ニ於ル携帶品ニ付テハ從來ノ例ニ鑑ミ學
校ニ於テ適宜指示セラレタキコト

(2) 生徒募集要項官報告示事項中無試験檢定期日等（口頭試問及
身體検査等モ含ム）ニ關シテハ官報登載事項制限ト睨ミ合セ省
略セルニ付右事項ハ志願者心得等ニ掲載セラレタキコト

〔例規集 昭和十三年七月 教務課〕

發專三〇號

昭和十九年一月二十九日

文部省専門教育局長

東京音樂學校校長殿

明年度入學者選抜ニ關スル件

標記ノ件ニ關シテハ目下夫々御配意中ノコトト存セラルモ、之ガ決
定ニ當リテハ年齢ノ如何ニ關係ナク眞ニ國家有用ノ人物タルベキ優
秀ナル者ヲ選抜スル様御措置相成度苟モ徵兵年齢低下等ノ措置ヲ考
慮シ年齢ノ比較的若キ者ヲ優先的ニ選抜スルガ如キコトナキ様特ニ
御留意相成度此段爲念及通牒

〔例規集 昭和十三年七月 教務課〕

(十) 試業に関する注意（昭和十九年二月）
昭和十九年二月三日起案

試業ニ關スル注意

一、病氣ソノ他止ムヲ得ザル事故ニヨリ受験不可能ノ場合ハ豫メソ
ノ旨届出ズベシ

一、警戒警報又ハ空襲警報發令ノ場合ハ試験ヲ中止ス

一、警戒警報解除後本校ニ異状ナキ場合ハ試験ヲ續行ス、生徒ハ直
ニ登校シ係教官ノ指示ヲ受クベシ

但シ午後五時以後ノ場合ハ翌朝午前八時マデニ登校シ指示ヲ
受クルコト

右ノ場合電話ニヨル照會ヲナサザルコト

〔手書き〕
〔例規集 昭和十三年七月 教務課〕

(十一) 学徒の軍事教育教化要綱（昭和十九年二月）

發體二八號 昭和十九年二月八日 文部次官

教育ニ關スル戰時非常措置方策ニ伴フ学徒ノ軍事教育強化要綱

（ニ關スル件）

第一方針

現戰局ニ對處シ徵兵適齡低下ニ即應セシムル爲學校ニ於テ軍事教育
ヲ強化シ一層基礎訓練ノ徹底ヲ圖リ特ニ大學高等專門學校ニ在リテ
ハ更ニ指揮能力ヲ向上セシムルト共ニ特別訓練ノ強化ヲ圖リ以テ當
面ノ戰爭遂行力ノ増強ヲ期ス

第二要領

一、教育内容

1、一般教育

一般教育内容ニ軍事的教材特ニ軍人ニ賜リタル救諭ヲ始メ軍人タルニ必要ナル精神の要素ノ取入ヲ一層増強シ、教授、特別訓練、勤労働員等ト相俟ツテ軍事能力ノ強化向上ヲ期ス

2、教練強化ノ内容

國民學校ヨリ大學ヲ一貫スル教練内容ヲ檢討シ其ノ教育體系ヲ整備擴充ス、之ガ爲教練ニ充當スル時間ハ中等學校ニ在リテハ現在程度トシ、大學高等專門學校中理工科系ニ在リテハ現在ノ五割程度以上ヲ増加シ同法文科系ニ在リテハ十割程度以上ヲ増加ス(別表)

但シ軍事講習、聯合演習ハ現在ノ通りトス

(一) 省

(二) 中等學校ノ教練ニ於テハ一層實戰即應ノ基礎訓練ヲ徹底セシム

新ニ通信基礎教育ヲ加フ

(四) 高等專門學校ノ教練ハ更ニ基礎訓練ノ徹底ヲ期シ、且、指揮能力ハ向上ヲ圖リ特定ノ一部生徒ニ步兵重火器、通信ノ教練ヲ課ス

(五) 省

(六) 大學高等專門學校ニ於テハ概ネ每週一回半日若クハ終日連續教練ヲ課ス

(七) 前掲(四)(五)ノ特業的教練ヲ課スベキ人員ハ總員ノ一割ヲ目途トシ其ノ訓練ニ充當スル時間ハ一般教練時數ノ三分ノ一程度

ヲ原則トス

(八) 特別訓練ヲ左ノ如ク實施ス

イ、航空訓練ヲ重點的ニ強化シ其ノ達成目標ヲ左ノ如クス

中等學校 滑空訓練初級

高等專門學校大學 滑空訓練中、上級一部操縱訓練

訓練人員ハ航空勤務適格者中軍ノ必要ヲ基礎トシテ決定ス本訓練ノ爲左ノ如ク教練時數ヲ充當ス

中等學校 第三學年以上每學年三十時

高等專門學校 教練時數ノ二分ノ一

大學 教練ノ全時數

指導者及資材ニ關シテハ其ノ強化整備ヲ圖ルモノトス

本訓練ノ外國民學校以上各學校各教科ヲ包轄一貫セル航空教育體系ヲ樹立シ綜合的ニ航空教育ヲ強化ス

ロ、機甲訓練ハ更ニ強化ヲ圖リ大學高等專門學校ニ在リテハ特定ノ一部生徒ニ對シ教練時數ノ二分ノ一ヲ充當ス

(九) 軍事教習ヲ左ノ如ク實施ス

イ、軍事學

大學高等專門學校ニ於テハ初級士官タルニ必要ナル初級戰術、戰史其ノ他所要ノ軍事學ノ概念ヲ課シ、充當スベキ時間ハ在學中ヲ通シ概ネ五十時間トス

ロ、兵器學

大學高等專門學校中理工系ニ於テハ技術將校タルニ必要ナル兵器學ヲ高等專門學校中法文科系ニ於テハ初級士官タルニ必要ナル兵器學ヲ課シ、之ニ充當スベキ教育時間ハ在學

中ヲ通シ、大學高等專門學校中理工科系ハ六十時間、高等專門學校中法文科系ハ三十時間トス

兵器學ノ内容ハ各兵器（火器、彈藥、化學兵器、自動車、戰車、軍用通信器、飛行機、電波兵器）ノ構造、機能、手入、取扱及調整等ヲ課スル外兵器關係工場ノ實習ヲ課スルモノトス、但シ兵器關係工場實習ニ要スル時數ハ前項ノ時間外トス

ハ、軍陣醫學

醫科系學校ニ於テ之ヲ課シ其ノ内容ハ軍陣醫學、衛生勤務、防空救護、健兵講座、航空醫學講座トス

教育時數ニ關シテハ別途研究ス

獸醫系ノ學徒ニ對シテハ右ニ準ジ之ヲ課ス

二、教授力ノ擴充

1、教授力ノ擴充強化ノ爲、教授教師ノ配置ヲ適正ナラシメ其ノ充實ヲ期ス

2、優良ナル教練教師ヲ補充スル爲、其ノ任用ノ制度ヲ改善スルト共ニ待遇ノ向上ヲ期ス

3、教練教師ノ資質向上ノ爲適切ナル再教育ヲ實施ス

三、學徒ノ體力向上
軍事上ノ要求ニ鑑ミ學徒ノ體力向上ニ一般ノ努力ヲナシ特ニ保健施策ヲ一層強化刷新ス

四、實施時期ハ昭和十九年四月ヲ目途トスルモ、實施可能ナルモノニ在リテハ可及的速カニ之ガ實施ヲ圖ルモノトス

(備考)

一、海軍關係ノ軍事教育ニ關シテハ海軍軍事教育令ニ基キ大學高等專門學校ノ最高學年ノ學徒ニ對シ軍事講義（航空術、航海術、運用術、砲術、水雷術、通信術、科學技術ト新式兵器、海軍組織、軍艦ノ重要性）年三十時間ヲ課ス

二、諸般ノ情勢ニ應ジ將來教練時數ヲ更ニ増加スルコトアルベシ

(別表) 軍事教育強化ニ伴フ教授(授業)時數

學校種別	別年學	教	練	軍事教育		軍事科學
				軍事學	兵器學(軍陣醫學)	
中等學校	每週時數	概ネ從表ノ通りトス	右ニ同ジ	五〇	三〇	1、各學年ニ於テ所要ノ通信訓練ヲ課ス 2、三、四年ニ於テ凡六十時(每週二時程度)軍事科學ヲ課ス
	一年時數					
高等學校尋常科	在校間時數計	右ニ同ジ	計一週(三〇〇)	五〇	三〇	右ニ同ジ
	右ニ同ジ					
師範學校	本科	右ニ同ジ	計一週(三〇〇)	五〇	三〇	右ニ同ジ
	豫科					
專門學校	文科	右ニ同ジ	計一週(四二〇)	五〇	三〇	右ニ同ジ
	農科					
	體育科	右ニ同ジ	計一週(四四八)	五〇	三〇	右ニ同ジ
	其他					

備考

一、本表中在校間時數ハ實施スベキ最小限ヲ示スモノトス事情ニ依リ、在校間時數ヲ減少セザル範圍ニ於テ一年時數每週時數ヲ變

更スルコトヲ得

二、本表ノ每週時數ハ其ノ學校ニ於ケル一單限ヲ以テ一時間ト看做ス

三、本表ノ野外演習、聯合演習、軍事講演及師範學校ニ於ケル教習ハ從來ノ通り實施シ、大學、高等專門學校ニ於テハ必要ニ依リ、現地教育、幹部實設演習等ヲ課スルコトヲ得

四、軍事學及兵器學ハ在校間ニ實施スベキ標準ヲ示シタルモノトス
五、學校種別ニ記載セザル學校ニ在リテハ其ノ程度ニ依リ、之ニ相當セルモノニ準ジテ實施スルモノトス

夜間ニ於テ授業ヲ行フモノハ中等學校ニ在リテハ土地ノ事情ニ依リ努メテ、晝間三時ノ教授ヲ課シ專門學校ニ在リテハ概ネ從來ノ時數ニ依ルモノトス

女子ノ學徒ニ對シテハ國防訓授ノ充實ヲ圖ルモノトス
六、法文農系學徒ニシテ身體ノ故障ノ爲徵兵ヲ猶豫セラレタルモノニ對シテハ本時數ノ一部ヲ保健的體育ニ充ツルコトヲ得

七、本表中在校間時數計欄ノ括弧ハ現行ノ時間數ヲ示ス〔手書き〕
〔例規集 昭和十三年七月 教務課〕

(十二) 入営または入團する學生生徒の取扱ひ(昭和十九年六月)

發專一六一號

昭和十九年六月十日

專門學校長殿

文 部 次 官 印

在學中入營又ハ入團スル學生生徒ノ取扱ニ關スル件

現役又ハ召集ニ依リ入營又ハ入團スル學生生徒ノ取扱方ニ關シテハ昭和十二年十月二十五日附發專一四九號通牒ニ依リ處理相成ルベキ次第ニ有之モ其ノ學年修了、卒業、復學等ニ關シテハ今次戰爭中ハ爾今左記ニ依リ處理スルコト、相成タルニ付之ガ實施上遺憾ナキヲ期セラレ度依命及通牒

追而陸軍航空關係豫備役兵科將校補充及服役臨時特例ニ依ル陸軍特別操縦見習士官、陸軍兵科及經理部豫備役將校補充及服役臨時特例ニ依ル特別甲種幹部候補生又ハ海軍豫備員任用臨時特例ニ依ル海軍豫備生徒等ニ關シテハ本件ニ關スル通牒ニ依リ措置相成度

記

一、最高學年ノ學生生徒ニシテ入營又ハ入團スル者ニ付テハ本人ノ勤惰ノ情況、學業成績等ヲ勘案シ卒業ノ見込アリト認メタルトキハ入營又ハ入團ノ際卒業見込證明書ヲ交付シ當該學年ノ卒業期ニ於テ卒業セシムルヲ得ルコト

右學生生徒ニシテ除隊歸還後ニ於テ實力涵養ノ爲修學ヲ希望スル者ニ對シテハ特別ノ課程(假稱補修科)ヲ設ケ又ハ最高學年ノ課程ノ一部又ハ全部ヲ履修セシムルコトヲ得ルコト

二、右以外ノ學生生徒ニシテ學年ノ三分ノ二以上ヲ經過シタル時期ニ於テ入營又ハ入團スルモノニ付テハ本人ノ勤惰ノ情況、學業成績等ヲ勘案シテ修了ノ見込アリト認ムルトキハ當該學年ノ修了期ニ於テ修了セシムルコトヲ得ルコト

三、前項ニ依リ修了ヲ認メタル學生生徒ノ復學ハ除隊歸還後當然上級學年ニ於テ修學スルモノナルモ復學ノ時期ガ右上級學年ノ課